

令和7年12月 定例会 一般質問通告一覧

8人 18件

※全議員が「一問一答」方式

質問 順位	議席番号 議員名	質 問 事 項
1	9番 浅 川 紀 明 議員	1 教育全般について 2 スポーツ振興のためのスポーツ団体等への後援・支援について
2	3番 須 田 聡 宏 議員	1 キャリアシップ事業について 2 若者の起業の推進について
3	1番 郷右近 佑 悟 議員	1 利府中学校弓道場の今後について 2 带状疱疹ワクチン定期接種の自己負担額について
4	11番 小 渕 洋一郎 議員	1 防犯灯は町管理へ 2 教育長不在はいつまで続くのか 3 馬の背の保全と安全対策は、どうなったか
5	7番 金 萬 文 雄 議員	1 渋滞緩和の政策について 2 D X推進計画の検討内容について 3 带状疱疹ワクチン接種の自己負担の軽減について
6	6番 鈴 木 晴 子 議員	1 安心安全なまちづくりのための防災・防犯カメラ、防犯灯の設置について 2 クマ対策について
7	8番 土 村 秀 俊 議員	1 ゼロカーボンシティの取り組みについて 2 指定管理者制度について
8	2番 阿 部 彦 忠 議員	1 スポーツによるまちづくりキックオフ宣言について 2 コンプライアンスについて

令和7年11月13日

利府町議会議長 鈴木 忠美 殿

利府町議会議員 浅川 紀明



一般質問通告書

(一括質問方式 ・ 一問一答方式)

令和7年12月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

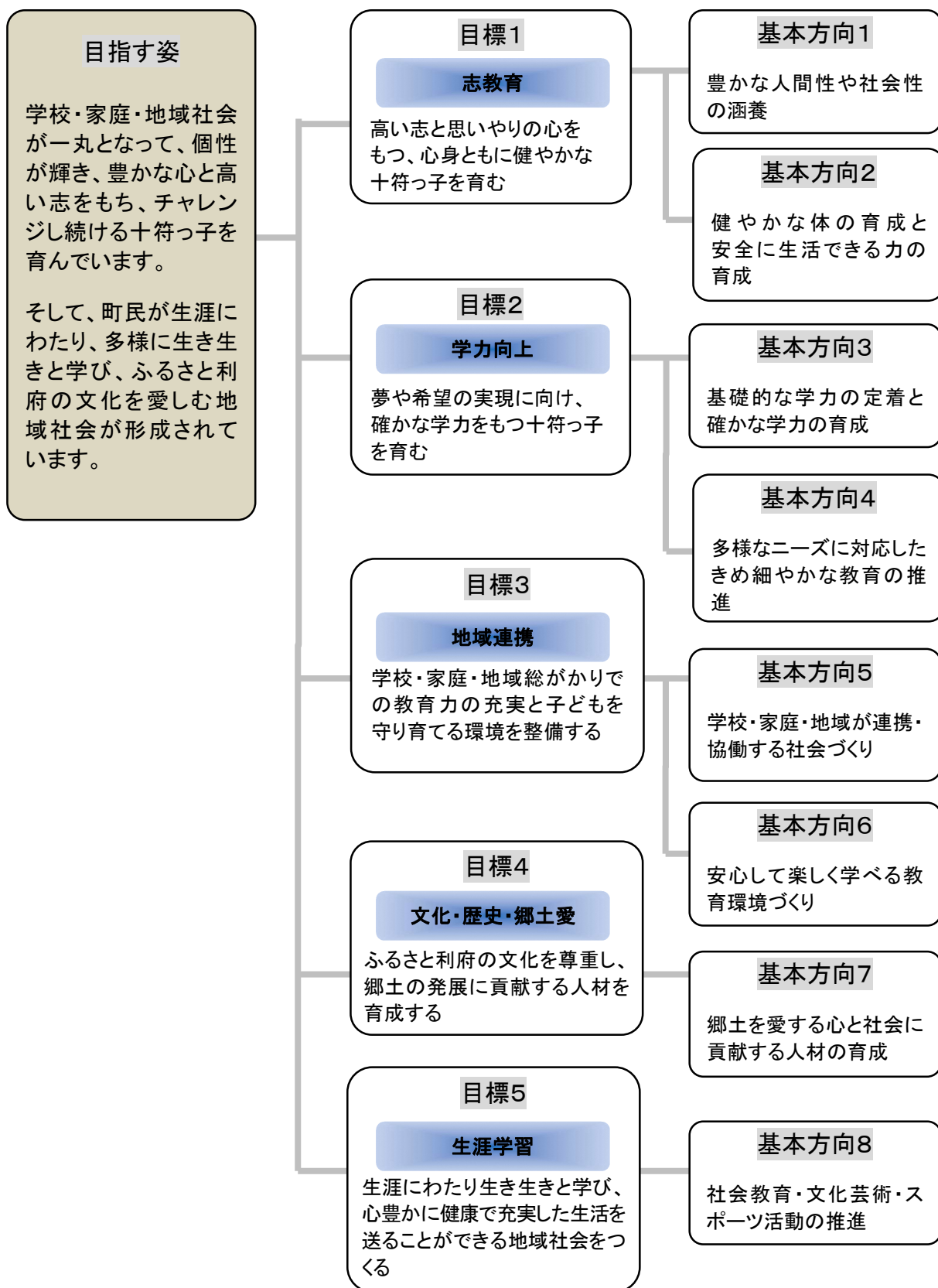
質問事項	質問要旨
1 教育全般について	(1) 9月に教育委員会から各議員に配布された「利府町教育委員会事務事業点検・評価報告書」(以下「報告書」という)と「令和7年度教育要覧ー利府町の教育」(以下「教育要覧」という)を拝読した。それに関連し2点質問する。 ① 「教育要覧」のp22「利府町の志教育」に「柱の3シップ」「支える2シップ」とあり、ブラザーシップ等5つのシップについて記述されている。この〇〇シップというのは造語であるため大変分かりづらく理解しにくい。例えばブラザーシップとは、「兄弟のような仲間意識・連帯関係」「仲間との信頼、助け合いの心」を表す概念だと説明されれば、何となく理解できるが、一般的な言葉でないので説明がないと分かりづらい。こうした造語の使用を止め、分かり易い言葉を使い、大切な「志教育」の再体系化を図ってはどうか。 参照「利府町の志教育」 ② 「報告書」のp5に「第2期教育振興基本計画」があり、5つの目標が記述されている。目指す目標が明確で非常に分かり易い。その第1目標に「志教育」がある。一方、①で記述した「教育要覧」の「利府町の志教育」には、「スクールシップ 学力向上」、「コミュニティシップ 地域協同」等があり、前述の「第2期教育振興基本計画」の「目標2 学力向上」や「目



2 スポーツ振興のためのスポーツ団体等への後援・支援について	標3 地域連携」とダブって記載されており、両者の関係性が分かりづらい。どのように理解したらよいのか説明願いたい。 参照「第2期教育振興基本計画」「利府町の志教育」 (2) 11月1日に町内3つの中学校で小学生を交えた「十符っ子の日ー感謝と誓いの集い」が同時開催されました。これは小・中学生の代表が、親や地域の方々に感謝し、自分の夢や希望、目標を発表する行事であるが、発表者の選考はどのようになされたのか伺う。 (3) 小学生・中学生のAI活用を制限すべきか否かについて伺う。他県の例であるが、小学生が作文や読書感想文の宿題にAIを活用し、洗練され脈絡の整ったものが提出されてくるとのこと。児童・生徒の思考力発達を阻害し得るAIの活用をどの程度制限し、逆に言えばどこまで許容するのか、その制限や許容にあたっては具体的にどうするのか見解を伺う。 先般、町民プールで「2025十符の里水泳競技会」が開催されたが、驚いたことに、利府町で開催され、後援として「利府町、利府町教育委員会、利府町スポーツ協会」の各団体が名を連ねているにも拘わらず、町内からの参加者は全参加者87名中、たった5名であった。極めて少なく非常に残念な状況であったが、「スポーツの町 利府町」を宣言している当局としても、その事実を知れば残念に思うと拝察する。 (1) 町内の水泳人口は決して少なくないと思うが、参加者が少なかった原因をどのように考えるか。 (2) 「スポーツの町 利府町」を具現化しているのは、町内の各種スポーツ団体であると考え。それらの団体が主催する大会等を町として後援・支援するにあたり、今後どのように取り組んでいくのか。
---------------------------------------	---

Ⅲ 第2期 教育振興基本計画（計画期間：令和5年度～令和14年度）

計画の理念として掲げた「目指す姿」と5つの「目標」のもと、それらの実現に向けて実施する「基本方向」を8つに分けて取り組んでいきます。



5 利府町の志教育「町は一つの学校」

目的

学校・家庭・地域・行政が一体となり、人や社会とのかかわりの中で社会性や勤労観を養い、集団や社会の中で果たすべき自己の役割を考え、将来の社会人としてのよりよい生き方を探求する児童・生徒を育成する。

志 教 育

柱の3シップ

十符っ子の日（感謝と誓いのつどい）

ブラザーシップ 健全育成	スクールシップ 学力向上	キャリアシップ 人間形成
人と『かかわる』	よりよい生き方を『もとめる』	社会での役割を『はたす』
小中高支合同の児童生徒活動	中学校区単位での積極的連携	社会や他世代とのかかわり
○あいさつ運動 ○エコキャップ運動 ○いじめをなくす運動 ○利府高校、利府支援学校との交流	○学ぶ力の向上事業 ○家庭学習のスタンダードづくり ○小中交流	○中学2年生の職場体験学習 ○農家での仕事体験 ○中高生の幼保小との交流・キャリア体験

支える2シップ

コミュニティシップ 地域協働
学びを『ささえる』
学校支援と地域貢献
○学習ボランティア等の地域人材の活用とのための組織づくり ○児童生徒による地域貢献活動 ○学校を中心とした地域づくり ○利府高校、利府支援学校との交流

チャイルドシップ 次世代育成
豊かな心を『はぐくむ』
学ぶ土台づくり
○小学生と幼稚園・保育所幼児との交流 ○スタートカリキュラムの充実 ○幼保小連絡会・研修会の実施 ○利府高校、利府支援学校との交流

組織図

教育委員会（事務局）

利府高等学校

利府支援学校

利府中学校区

「はぐくむ夢 高める志 そして未来へ」

利府中

利府小

三小

利府第二おおぞら幼稚園
もりのおと園

利府聖農保育園

利府葉山保育園

利府聖光こども園

なしの美保育園

しらかし台中学校区

「志をもって見つめる将来」

しら中

しら小

青小

利府第二おおぞら幼稚園

利府第二おおぞら保育園

青葉台保育園

利府幼稚園

青山すぎのこども園

利府西中学校区

「夢にまっすぐ」

西中

二小

菅谷台小

利府
ウエルネス認定こども園

利府おおぞら幼稚園

利府おおぞら保育園

菅谷台保育所

アスク利府保育園

令和7年11月17日

利府町議会議長 殿

利府町議会議員 須田 聡宏



一 般 質 問 通 告 書
(一括質問方式・一問一答方式)

令和7年12月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨
1 キャリアシップ事業について	「町は一つの学校」を掲げる本町は、町の地域教育力を活用して中学2年生による職場体験学習を実施している。 文部科学省が「生徒にとって最も効果的」と推奨する5日間の実施を、町内事業所の協力のもと、県内では先駆けて全中学校で実現している。 これらの体験学習を通して生徒たちは将来のビジョンや職業観を広げ、普段の生活や学習姿勢にも良い影響がでている。また家庭でも体験の内容や将来のことについての話題が増え、働くことの意義に関心が高まったと聞く。 この事業をより良く継続する意図で、以下の項目について伺う。 (1) 日数について ① 仙台市などは3～5日と学校ごとに柔軟に設定しているが、5日間を基本とする理由を伺う。 ② 事業者からの要望はどうか。 ③ 5日間で複数の事業所を体験する場合もある。成果に影響はあるか。 (2) 通勤時の公共交通機関の利用について配慮はあるか。将来的な展望も含めた所見を伺う。 (3) 内容について ① 5日間の体験プログラムはどのように決めるのか。 ② 希望の職種に配属されない生徒はどの程度か。また、その対応策はあるか。



質 問 事 項	質 問 要 旨
2 若者の起業の推進について	③ キャリアシッププラットフォームの目的と昨年度との比較において活用状況に変化はあったか。 (4) 生徒、保護者、事業者、学校（教員）、教育委員会それぞれの立場による現状の負担と、負担軽減に向けた方策を伺う。 (5) 受入れ事業者への支援策や特典の拡充の可能性について伺う。 (6) 文部科学省が推進している起業体験について、学校教育と生涯教育の視点からどのような見通ししているのか伺う。 町では、利府駅前の「まち・ひと・しごとステーション tsumiki」において、定期的にマルシェを開催するなど、起業支援や相談体制の整備に取り組んでいる。 こうした取り組みに加え、起業に至る前段階として、体験的・試験的に模擬出店などを行える機会を設けることで起業を身近に感じ、挑戦できる環境を整えることが重要と考える。 そこで、町内で既に実施されている各種イベントを活用し、起業促進の機会を創出することができないか、以下の観点から伺う。 (1) 若者が起業体験できる場の創出について、町の方針と見解を伺う。 (2) 若者が企画、実践する仕組みづくりについて、tsumiki の施設、人的資源の活用を含めた支援の方策を伺う。 (3) 若者の起業体験を支援するための町の役割について伺う。 (4) 小中学校への参加協力依頼や連携促進はできるか。

令和7年11月17日

利府町議会議長 殿

利府町議会議員 郷右近 佑悟



一般質問通告書

(一括質問方式・一問一答方式)

令和7年12月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

質問事項	質問要旨
1 利府中学校弓道場の今後について	利府中学校の弓道部が活動していた旧弓道場は建築から40数年が経過しており、老朽化が著しく安全面に問題があったこと、建物が小さいため増加傾向にある部員が十分な練習を行えていない環境であったことなどから、令和7年に新しく利府中学校弓道場が建設された。 町は新しい弓道場に関して、議員全員協議会や定例会で「基本的に生徒の使用が優先だが、今後は弓道場の一般開放も考えている」と答弁していることを踏まえ、部活動地域展開、一般開放を踏まえた今後の弓道場使用の展望について伺う。
2 带状疱疹ワクチン定期接種の自己負担額について	令和7年4月から65歳の方（令和11年度までは経過措置として70、75、80・・・100歳まで5歳間隔で対象）への带状疱疹ワクチンの予防接種が、予防接種法に基づく定期接種の対象になった。 利府町で設定されている自己負担額は生ワクチン4,900円（1回接種）、組み換えワクチン18,100円（2回接種必要）である。塩釜管内の2市3町は自己負担額が同額で、県内他の自治体に比べて組み換えワクチンの自己負担額が特に高額な設定になっている。 （仙台市 生ワクチン5,000円／1回、組み換えワク



質 問 事 項	質 問 要 旨
	チン１１，０００円／１回。 富谷市 生ワクチン 4，８００円／１回 組み換えワクチン１２，０００円／ １回。 大河原町 生ワクチン２，５００円／１回、組み 換えワクチン６，５００円／１回) 帯状疱疹は８０歳までに約３人に１人が発症するとも 言われている。合併症から生活へ支障をきたすケースも少 なくないことから、帯状疱疹ワクチン接種の自己負担額を 減額する考えはないか町に伺う。

令和7年11月18日

利府町議会議長 殿

利府町議会議員 小 渕 洋一郎



一 般 質 問 通 告 書

(一括質問方式 ・ 一問一答方式)

令和7年12月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨
1 防犯灯は町管理へ	街灯は一般的に、夜間における住民の安全及び犯罪被害の未然防止を図るため設置されている防犯灯と夜間の交通の安全と円滑化を図るため、市街地の幹線道路や交差点などに設置されている街路灯に区分され、本町には防犯灯と街路灯が設置され町民は、安全で安心な生活を送っている。 防犯灯の管理は、地元自治会が行い、街路灯の管理は、道路を管理する国や県、市町村が行っている。 本町には、街路灯が約800灯、防犯灯が約3150灯あると聞くが、以下について伺う。 (1) 本町の場合、防犯灯の電力使用料金は、町内会が負担していると聞くがそれは事実か。 事実としたら、本町全体の防犯灯に掛かる年間の電力使用料金は、いくらになっているか。 (2) 町内会は、高齢化、会員相互の町内会に対する意識の希薄化により、年々会員数が減少している。その現状を当局は認識しているか。 (3) 防犯灯がエバーライトからLEDに切り替える際、町と町内会が協議をして10年間のリース契約を締結して、円滑に防犯灯の切り替えが完了したと聞くが、町は、契約終了後の将来をどの様に考えているか。 (4) 防犯灯の管理は、町ができないか。



質 問 事 項	質 問 要 旨
2 教育長不在はいつまで続くのか	教育長は、教育委員会の会務を総理し、教育委員会を代表するとともに具体の事務を執行する教育行政の第一義的な責任者である。 また、教育長は、教育行政に大きな権限と責任を有することから、その資質・能力の向上は、極めて重要であり、強い使命感を持ち各種研修会への参加など、常に自己研鑽に励む必要があること（文科省）と言われている。 令和6年9月末、前教育長が退任され1年2カ月不在の状態となっている。 その間、大きな問題が生起したと伺っていないが、学校現場（各小・中学校学）への影響、教育委員会及び教育部には、目に見えない影響が出ていると感じるので、以下について伺う。 （1）教育長不在により、教育行政全般、学校現場及び教育委員会が実施する業務に、支障をきたしていないか。 （2）職務代行を置いて業務を行っているが、教育長のなすべき事を十分にカバーできているか。 （3）教育長任命権者として、教育長を任命する予定はあるか。（いつまで、不在の状態を続けるのか）

質 問 事 項	質 問 要 旨
3 馬の背の保全と安全対策は、どうなったか	昨年、9月定例会の一般質問で取り上げた天然の栈橋表松島「馬の背」については、将来にわたり持続可能な観光名所として存続させることが重要と捉えて私は、質問をした。 その後、進捗状況について伺う。 (1) 馬の背が一望できる陸地に柵を設置して、注意喚起の標識を立て、突端まで行けない様にする処置は、どうなったか。 (2) 柵が設置されるまでの間、海へ転落した際の救命浮き輪の配置は、どうなったか。 (3) 馬の背入口に至る県管理道路の標識の設置と一方通行等の交通規制は、どうなったか。 (4) 駐車場は完成したが、トイレが無い。 今後、トイレの設置を検討すべきではないか。

令和7年11月19日

利府町議会議長 殿

利府町議会議員 金萬文雄



一 般 質 問 通 告 書

(一括質問方式・一問一答方式)

令和7年12月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨
1 渋滞緩和の政策について	県道8号仙台松島線（通称利府街道）とその周辺道路の渋滞は、町の発展とともに数十年前より課題となっている。住民からは「令和3年の新たな大型商業施設開業以降にさらに渋滞がひどくなった」「朝早くの通勤が必要になっている」「休日は町中心部に出られない」などの声が多く寄せられており、渋滞の悪化による生活環境への影響が大きくなっていることが伺える。 町は総合計画において、町民ニーズの最も高かった「公共交通・渋滞緩和」への対応として、道路網の整備を重点戦略に位置付けた。また、令和7年4月に公表した「道路整備計画」の現状分析では、仙台松島線の渋滞状況について「交通量は混雑による高止まりが継続され（中略）、飽和状態に近い状態」と分析し、道路整備が計画されている。 今後も商業施設や住宅地開発などの発展に伴い、町内の就業人口増加や仙台圏を中心とした通勤の増加が予測され、渋滞緩和は快適な住環境の整備に不可欠となっている。仙台松島線を中心とした渋滞緩和の政策について伺う。 (1) 工事中的の新中堀新川崎線は、渋滞緩和が目的の一つとされているが、令和7年度末に開通した場合の仙台松島線の渋滞緩和効果を伺う。 (2) 道路整備計画について以下に伺う ①整備優先度の評価手法は、「重要度」「改善度」「実現度」を掛け合わせた総合評価とされているが、な



質 問 事 項	質 問 要 旨
2 D X 推進計画の検討内容について	ぜ計画のような優先度になったのか明らかになっていない。新路線及び改良路線の優先度上位3か所について総合評価指数を伺う。 ②仙台松島線の仙台方向の渋滞緩和には、岩切大橋や国道4号線への接続の混雑解消が不可欠と考えるが、町の混雑解消の取り組み状況を伺う。 ③宮城県渋滞対策連絡協議会の令和5年調査結果では、「仙台松島線の松島方向の渋滞は沿道施設の利用車両の流入集中が要因」とされているが、この点の取り組み状況を伺う。 国は、目指すべきデジタル社会のビジョンとして「デジタルの活用により、一人ひとりのニーズに合ったサービスを選ぶことができ、多様な幸せが実現できる社会～誰一人取り残さない、人に優しいデジタル化～」とし、自治体D X 推進計画が進められている。町は令和4年4月から令和8年3月までのD X 推進計画を作成し、19業務のシステム化や住民サービスの一部オンライン化とデジタル化を進め、政府共通のクラウド環境（ガバメントクラウド）や自治体間の総合行政ネットワーク（L G W A N）に向けても、システム構築をすすめている。今後、行政事務の効率化により、「行かない、待たない、書かない」窓口の実現などの住民サービスの利便性向上を図るとしている。 D X 推進により、どのような住民サービスの質の向上を目指しているのか、またその課題について以下に伺う。 （1）D X 推進の組織体制として、国は専門的知見から最高情報統括責任者（C I O）補佐官への外部人材の登用をすすめているが、町の考えを伺う。 （2）現時点までのD X 推進計画の達成状況と課題を伺う。 （3）D X 推進により窓口業務も含めた住民サービスが変わると考えられるが、想定しているサービス業務の変更があるか伺う。その際の「誰一人取り残さない」た

質 問 事 項	質 問 要 旨
3 带状疱疹ワクチン接種の自己負担の軽減について	めの情報格差（デジタルデバйд）対策を伺う。 （４）ＬＧＷＡＮやガバメントクラウド構築に伴う、セキュリティ対策を伺う。 高齢者の带状疱疹後神経痛の後遺症軽減のため、令和７年度から、原則６５歳の方への带状疱疹ワクチンの予防接種が、予防接種法に基づく定期接種の対象となった。それまでは、組換えワクチン接種で１回２２,０００円ほどの全額自己負担であったが、令和７年４月から町の助成により、自己負担額は生ワクチン１回４,９００円、組換えワクチン１回１８,１００円へと軽減された。 しかし、２市３町以外の県内市町村のワクチン接種自己負担額は、生ワクチンは同程度だが、組換えワクチンは１回１０,０００円～１２,０００円程度となっており、２市３町のみ突出して高くなっている。一部医師の方からも疑問の意見が出ている。 生ワクチンは１回の皮下接種、不活化ワクチンは２回の筋肉内接種が必要だが、予防効果は接種後５年時点で、生ワクチンが４割、組換えワクチンが９割である。２市３町の協議結果で助成額を決定したと伺っているが、組換えワクチンの接種を受けやすくするため、他市町村と同様の自己負担額に減額するべきと考えるが、町の見解を伺う。

令和 7 年 1 1 月 1 9 日

利府町議会議長 殿

利府町議会議員

鈴木 晴子



一 般 質 問 通 告 書

(一括質問方式・一問一答方式)

令和 7 年 1 2 月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨
1 安心安全なまちづくりのための防災・防犯カメラ、防犯灯の設置について	利府町には、最大 5 万人を集客するグランディ・21 が所在し、イベント時には町道・歩道に多くの来訪者が集中している。イベントの終了時は夜間となることもあり、帰路の危険性、交通事故のリスクが懸念される。また、近年は熊の出没や冠水・倒木などの災害も増えており、迅速な状況把握が求められている。加えて、不法投棄も後を絶たず、環境保全の観点からも対策が必要と考える。これらの課題を総合的に踏まえ、町民と来訪者の安全を確保するために、防災・防犯カメラ、防犯灯の計画的な設置を進めるべきと考えることから、以下の点を伺う。 (1) これらの状況を踏まえ、本町として防犯・防災カメラの必要性をどのように捉えているのか、町の見解を伺う。 (2) 近年、自治体が犯罪抑止や地域の安全向上を目的に、防犯カメラ設置に対して補助金を交付する制度が全国的に広がっている。住宅街の侵入盗対策や通学路の見守り、不審者対策、ゴミの不法投棄の抑止などに有効であり、住民の安心感にもつながると評価されている。本町においても、町内会や個人などへ防犯カメラ設置への補助制度を創設し、地域全体の安全性向上につなげていく考えはないか、町の見解を伺う。 (3) グランディ・21 周辺の防犯対策として、防犯カメラ、防犯灯の設置を検討すべきではないか。



質 問 事 項	質 問 要 旨
2 クマ対策について	近年、全国的にクマ類による人身被害や目撃情報が急増し、宮城県内でも過去最多となっている。国は「クマ被害対策パッケージ」を取りまとめ、捕獲体制の強化、麻酔銃やドローンの活用、生活圏への侵入防止策、多言語を含む迅速な情報発信の充実など、自治体に求められる具体的施策を示した。また県も緊急対策を開始し、ガバメントハンターの育成や資機材整備への支援を進めている。本町は都市近郊型で、住宅地と里山が隣接するという特性上、住民の安心・安全の確保には、国・県方針を踏まえた迅速かつ総合的なクマ対策が不可欠である。以上を踏まえ、町の現状と今後の取り組みについて伺う。 (1) クマ対策体制整備の状況はどうか。 (2) 住民を守るという視点での情報発信体制の整備状況を伺う。 (3) 「利府町クマ対応マニュアル」を策定してはどうか。

令和7年11月19日

利府町議会議長 殿

利府町議会議員 土村 秀俊

一 般 質 問 通 告 書

(一括質問方式 ・ 一問一答方式)

令和7年12月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

質 問 事 項	質 問 要 旨
1 ゼロカーボンシティの取り組みについて	町は2050年までに、CO2排出量を実質ゼロにする「ゼロカーボンシティ」を宣言してから丸3年が経過したが、この間のCO2削減の取り組みについて伺う。 (1) 2018年・24年に策定した町の地球温暖化対策実行計画と統合してCO2削減に取り組んできたと思うが、この間の各事業目標の到達について、町はどのように評価をしているのか。 また、計画では2030年までにCO2を46%削減すると掲げているが、目標を達成するために5年間でCO2削減に向け、町はどのような取り組みに力を入れていく考えなのか。 (2) 令和4年にプラスチック資源の法律が施行されたため、昨年の4月より町は、プラスチック資源の一括回収を実施している。事業実施して1年半が経過したが、この回収方法の変更によりプラスチックのリサイクルが進んだのか。また分別することで、町のゴミの総量自体の減少やCO2の削減などに効果的に繋がっているのか。
2 指定管理者制度について	文化複合施設「リフノス」が開館して5年になるが、施設の管理運営は指定管理者に委託してきた。契約期間は今年度で終了し、新たに管理者を更新し来年度から再度管理を委託する。 今年度までの5年間の指定管理の状況については、毎年モニタリングなども行ってきたが、それらも踏まえて、文化複合施設を指定管理し業務委託の運営を実施



してきたことで、町にとってどのような成果が得られたものと評価しているのか。

また、指定管理による運営で課題があると捉えた部分については、今後の指定管理業務の中でどのように改善・反映させていくと町は考えているのか。

令和7年11月19日

利府町議会議長 殿

利府町議会議員 阿部彦忠



一般質問通告書

(一括質問方式・一問一答方式)

令和7年12月定例会において、次の事項について質問したいので通告します。

質問事項	質問要旨
1 スポーツによるまちづくりキックオフ宣言について	令和6年3月、町民の健康増進や子どもたちの運動・体力の向上、誰もが楽しめるスポーツを推進し、更なる発展を目指すことを掲げ「スポーツによるまちづくりキックオフ宣言」を行った。「スポーツのまち利府」という看板も町内数箇所に設置され、取り組みの本気度が感じられる。かねてより町民参加型のスポーツ大会はあったものの、ここ数年はラリーやスポーツ流鏑馬等といった「見るスポーツ」という新しい取り組みにも着手し、今後の展開に注目が集まっている。 (1)「見るスポーツ」の今後の展開について。 ① 町内で開催されている「見るスポーツ・ラリーやスポーツ流鏑馬」は、観光としての経済効果も期待されると考えるが、今後どのように発展させていくのか。 ② 他方、健康増進の観点から、子供から高齢者まで幅広い年代が活動できる環境整備も必要と考える。 公園や体育館等の設備、更新や改善として、どのような計画があるか。 (2) スポーツ振興と、町民活動や文化芸術振興とのバランスについて。



質 問 事 項	質 問 要 旨
2 コンプライアンスについて	①利府町文化祭は、多くの参加者がいることから、町民の関心が高いと理解している。 他に町民主体で楽しめる企画は考えているか。 ②文化芸術振興は、町民活動の活性化に繋がる。積極的に支援していくつもりはあるか。 本町で令和6年度中に発生したコンプライアンス違反より期間が経過したが、事案の分析・再発防止策、コンプライアンスのあり方について伺う。 ①事案の分析は、どのように行ったか、具体的な内容を伺う。 ②再発防止策は確立できたか。進捗を伺う。